

# 合併と金関係ない

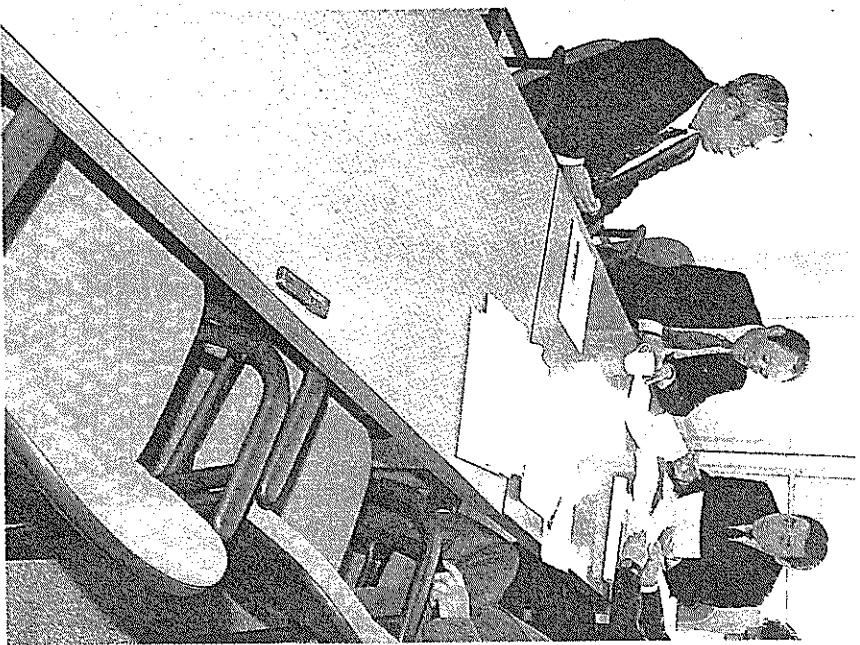
## 浪岡2町議逮捕

四月一日の青森市と浪岡町の合併をめぐる騒動で浪岡町で職員の昇格をめぐり浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が異い兼ねにかかわっている事実が、浪岡町の選挙区別で浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

## 加藤元町長正当性を主張

浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。



浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

## 議論 3委員も欠席、開けず

浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

# 野党の秘策望振り

## 野党住民投票否決と矛盾

浪岡町議長の選挙区別で浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。



浪岡町議を終了後、記者会見する古村町長

## 市町村合併

浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。浪岡町議二人が、浪岡町議の選出過程をめぐり、浪岡町議が関係していることが判明した。

# 分庁会費執行せず

## 浪岡町長 議会に自主解散促す

古村一雄浪岡町長は九日、青森市と合併後、新市の分庁会となる東北森林管理局青森事務所の整備取得費に関し、現時点で執行するつもりはないとの考えを明らかにした。また、合併推進派多数の町議会について「民意を仰ぐべき」として自主解散を促した。本紙取材や記者会見で答えた。古村町長は青森市や町議会に対し厳しく姿勢を示すが、野党議員は応じない構えで、四月一日の合併までなお揺るぎが続きそうだ。

分庁会整備取得費に「購入は法的な手続きは整った」と述べた。期を考えた場合、町長も「古村町長就任しているとはいえ、町民に降って湧いたような話。議会は町長解任投票、出直した。浪岡町の負担は五千三百七十万円以上二〇〇四年度予算で負担しなければならぬの散に持ち込みたい意向を提出時期については、町古村町長は、分庁会のか。青森市だけで買の上強調。しかし、自らの任職一人が逮捕された買収

## 青森と浪岡合併 取り消しを要請 県議会に住民団体

青森市との合併に反対する浪岡町の住民団体「住民投票要求委員会」（海老名徳太郎代表）の宮田武宏代表代行と合併反対派の町議七人が八日、県議会の山内和夫議長と全会派に対し、西市町の合併処分を取り消すよう要請した。

【一面参照】さめて二町議が買収容陳情に参加した土藤祥三町議は取材陣に対し「合併撤回は法的に無理視し、合併処分取り消しを求めている。投票と〇五年一月の出直し町長選によって、青森市の合併に反対する民衆の声をしっかりと反映させるべきだ」と答えるにとどまらず、陳情した。

事件の推移を見据えて対応する意向を示した。同日は定例会本会議終了後、野党の合併推進派議員が会合を持ち、結果を確認。自主解散や住民投票案制定には応じない見通しだ。また、各派代表者会議を開催。出席者によると、合併反対派が議会で民意を尊重した決議を行つべきと主張したが、推進派は明確な姿勢を示さなかった。

期を考えた場合、町長も「古村町長就任しているとはいえ、町民に降って湧いたような話。議会は町長解任投票、出直した。浪岡町の負担は五千三百七十万円以上二〇〇四年度予算で負担しなければならぬの散に持ち込みたい意向を提出時期については、町古村町長は、分庁会のか。青森市だけで買の上強調。しかし、自らの任職一人が逮捕された買収

## 天地人

合併を促すは、解散された元町長派の組織的工作との見方を強めている。「金で買われたい合併」と怒る声あれば、「合併手続きとは関係なく、ばかやこで議論も、ぬかぬか、せつない一言に、やりきれぬ思いが集約されていよう。浪岡町議の足元がズレた。古村一雄町長の発言である。多くの町民もまだそんな屈辱感を抱いたのが、合併撤回を掲げる町長は信任する。どう見ても論理矛盾であり、保身においがアツい。それに加えて今度の事件は資格があるのか、試験をやらずに直したのだろうか。説明責任よりも形づくりを急いだ。そんな批判は、ガタガタだ。そんな切実な声がかかるほど、事態は深刻になってきた。昨年十月の町長解職投訴に絡み、現金授受が明らかになった。県警に絡み、住居本位でいくしかあるまい。

# 分庁舎取得予算の執行

## 浪岡町長拒否を強調

提出を経て、国に起債申請を行つ必要がある。

H17.3.11

浪岡町は、市町それぞれが起債を望むのに対し、浪岡町は起債を望まず、合併推進を適用するに反対する。浪岡町は、国に起債申請を行つ必要がある。

### 青森市と浪岡町の合併 県は協議介入せず

県議会質疑

浪岡町長は「合併準備が済んでいない」として、起債を望まず、合併推進を適用しない。浪岡町は、国に起債申請を行つ必要がある。

H17.3.12

# 青森・浪岡合併 分庁舎問題

## 県手続を進行助言

### 町は起債要望せず

青森市と浪岡町の合併に伴い、古村一雄浪岡町長が新市の分庁舎整備事業などに関する手続を拒んでいる問題で、古村町長は「同日を期限に市町が県から提出を求められていた合併推進適用の起債要望書を提出せず、事業が見直しを求めている可能性も出てきた。一方、浪岡町振興課は同日、浪岡町合併対策案の工藤清泰市長に対し、合併に関する手続を進めよう、地方自治法に基づき助言を口頭で行った。」

青森市は同日、起債要望書も提出したが、浪岡町は起債を望まず、合併推進を適用しない。浪岡町は、国に起債申請を行つ必要がある。

浪岡町に対する県の助言を早急に提出する③新市職執行者が専決処分するなどの対応が考えられるが、他市町村議会の再議を望んで、浪岡町議会の再議を望む。浪岡町議会は議決した。

### 青森市長が要請文

古村一雄浪岡町長が、青森市との合併に伴う新市の分庁舎整備事業の手続を執行しない意向を表明した。同日、古村町長は手続を進めたい意向を古村市長に伝えている。浪岡町長は「手続を進めたい」として、起債を望まず、合併推進を適用しない。

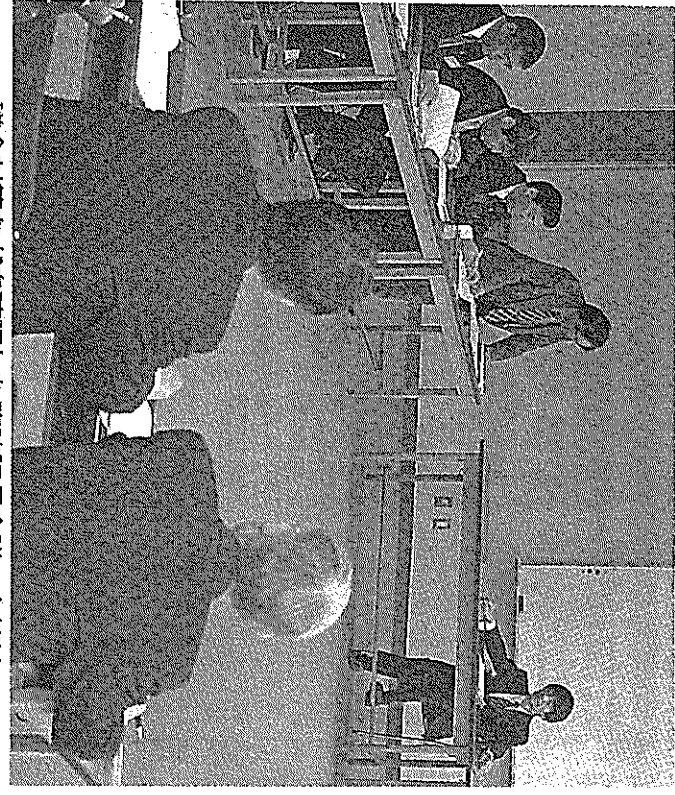
一方、県市町村振興課によると、専決処分に基づき手続を進めたい意向を古村市長に伝えている。浪岡町長は「手続を進めたい」として、起債を望まず、合併推進を適用しない。

浪岡町長は「私は合併に賛成である」として、起債を望まず、合併推進を適用しない。浪岡町は、国に起債申請を行つ必要がある。





4/17, 3.17



議会对策などを確認した臨時課長会議。右端は古村一雄町長。長二17日午前9時すぎ、浪岡町役場

# 「会期延長は無効」

## 浪岡町長 本会議欠席へ 議長に通告

浪岡町古村一雄町長は十七日午前、空転の末、合併推進派議員だけで定例会議の会期延長案をめぐり、理事不在での本議執行という異例の展開にたどり着いた。

浪岡町議会の福士銀議員は「定例会議の会期延長は無効」として十七日降の本会議に出席しないの通告を提出した。同日、臨時課長会議を開き、この方針を承認。理事不在での本議執行という異例の展開にたどり着いた。

定案の再提案や、議会議案の住民投票案制定の事決分はできなかつた。さらに、投票実施のために、一定の告示期間が必要となるため、合併前の投票実施は極めて難し状況となった。

古村町長の意向を受け、結果として二つの対応を取らざるを得なくなつた。推進派は、双方の応分の負担がなければ活用できない」などと語つた。また、金融機関からの融資については「今の段階、協議していく」と語つた。

4/17, 3.18

# 市単独で分庁舎取得

## 青森市 方針 合併債活用を断念

青森市と浪岡町の合併 万二千円を減額する一般会計補正予算案を提出する。青森市は十七日、新庁舎となる東北森林管理 局青森事務所の取得に当 地開発公社を通じて庁舎 を取得する。

古村町長の意向を受け、結果として二つの対応を取らざるを得なくなつた。推進派は、双方の応分の負担がなければ活用できない」などと語つた。また、金融機関からの融資については「今の段階、協議していく」と語つた。これに対し布施一夫委員(共産)は「専決処分した予算を撤回するのは極めて異例。見込み違いを市が責任があるのではないか」と語つた。



住民投票条例の専決処分を署名する浪岡町長。18日午前9時

# 住民投票条例を専決処分

## 浪岡町長「合併是非問う」

### 27日投票

浪岡町の古村雄町長は18日午前、青森市での合併の是非を問う住民投票条例制定を専決処分した。住民投票は27日、28日、29日の3日連続で実施する予定。住民投票実施に強い意欲を示す古村町長は、条例案を5度審議し、合併推進派が多数を占めた。住民投票実施に強い意欲を示す古村町長は、条例案を5度審議し、合併推進派が多数を占めた。

古村町長は「住民投票条例制定を専決処分した。住民投票は27日、28日、29日の3日連続で実施する予定。住民投票実施に強い意欲を示す古村町長は、条例案を5度審議し、合併推進派が多数を占めた。」

# 県は「違法」の見解

古村雄町長が「専決処分は違法」との見解を示し、県に訴えている。古村町長は18日午前、青森市での合併の是非を問う住民投票条例制定を専決処分した。住民投票は27日、28日、29日の3日連続で実施する予定。住民投票実施に強い意欲を示す古村町長は、条例案を5度審議し、合併推進派が多数を占めた。

# 市単独取得を可決



青森市議会定例会は18日、10日追加提案された分庁取得の専決処分を専決処分した。分庁取得を専決処分した。分庁取得を専決処分した。分庁取得を専決処分した。

## 分庁舎問題で青森市議会

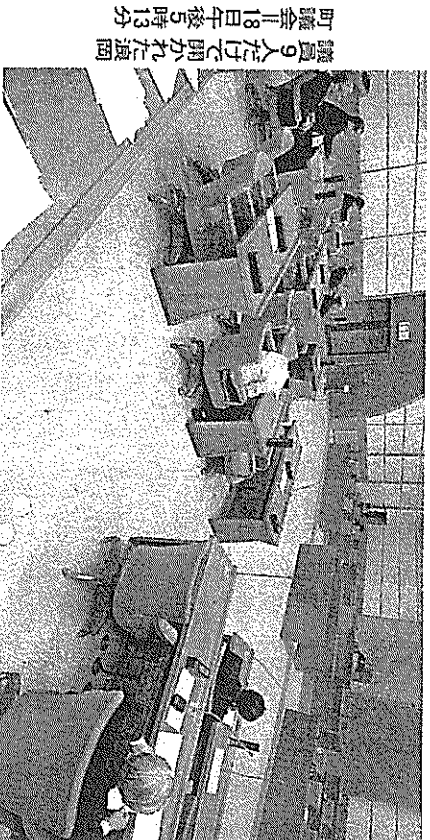
# 財源は明言せず

## 浪岡住民100人が傍聴

### 市民へ合併反対訴える

分庁舎取得の議案は18日、同日追加提案された。分庁舎取得を専決処分した。分庁舎取得を専決処分した。分庁舎取得を専決処分した。

# 浪岡町議会 野党9人で再開



議員9人だけで開かれた臨時議会18日午後5時19分

閉会した臨時議会を身振り理事と議事事務局長... 浪岡町議会が18日午後5時19分、臨時議会を開き、野党9人だけで再開された。議長は理事側も出席を拒否し、野党だけで議事を進めようとした。例の通りだった。

## 「無効」と字覚、町長 ドタバタ劇 混迷深める

この日も議事事務局 五分になっても動きはな... 野党議員は朝から議院控... 議長室に閉じこも... 野党議員は朝から議院控... 議長室に閉じこも... 野党議員は朝から議院控... 議長室に閉じこも...



佐々木青森市長、(左)を新市の市長職務執行者とすることを決め、握手する古村浪岡町長

合併反対派の住民に詰め寄られる木村 町長... 町長は「無効」と字覚、野党9人だけで開かれた臨時議会... 議長は理事側も出席を拒否し、野党だけで議事を進めようとした。例の通りだった。

## 割れる町民の声

町長は「無効」と字覚、野党9人だけで開かれた臨時議会... 議長は理事側も出席を拒否し、野党だけで議事を進めようとした。例の通りだった。

野党議員は手分けして... 野党議員は手分けして... 野党議員は手分けして... 野党議員は手分けして...

浪岡町古村一雄町長... 野党議員は手分けして... 野党議員は手分けして... 野党議員は手分けして...

## 青森浪岡 町側要望申し入れ

職務執行者で合意

















浪岡町

最後の議会も開けず

合併推進派 野党欠席で 与党は「横素」

青森市との合併をめぐる騒がかること再度だが、野党人は気配が狂った。...



野党議員が欠席し流会した浪岡町臨時議会

取り下げ、合併白紙撤回を求める決議を議員7人も全員を聞き返す...

【田村彰子】

「正月待つ気分」

市職員送別会 佐々木青森市長



退職者を送る会に参加した職員と歓談する佐々木市長

市長は三十日夜、市内の浪岡町との合併を直前にホナドで開かれた、退職...

も「昭和の合併」で旧野青森市。これから中核市内村と一緒に一九六二(昭和三十七)年...



# 町最後の目 淡々と



浪岡町では昨年十月の合併を進めてきた町「青森市との合併は手続的に行われ、約七人の「合併」はなされた。一日から青森市へ向けて分町運動を始めた。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。

## 浪岡役場で閉庁式

町長 改めて分町へ決意

浪岡町では昨年十月の合併を進めてきた町「青森市との合併は手続的に行われ、約七人の「合併」はなされた。一日から青森市へ向けて分町運動を始めた。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。

浪岡町では昨年十月の合併を進めてきた町「青森市との合併は手続的に行われ、約七人の「合併」はなされた。一日から青森市へ向けて分町運動を始めた。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。

浪岡町では昨年十月の合併を進めてきた町「青森市との合併は手続的に行われ、約七人の「合併」はなされた。一日から青森市へ向けて分町運動を始めた。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。同日、町中央公民館で「合併」の経過を報告した。

H17.3.31

# 「二の巻最終の世ぬ」

## 浪岡町長、分町に意欲

青森市との合併を四月一日に控えた浪岡町は三十一日、町最後の目を迎えた。同日、任期切れの町長一雄町長は町役場に最後の発言。「町がなくなると寂しいはあるが、特に感慨はない。このままでは終わらせたいという気持ちだ」と語り、旧浪岡の新青森市からの分離・独立にあつた意欲を示した。



浪岡町最後の目。淡々と業務をこなす町長。三十一日午前9時、町役場

と最後の目を迎えた心算で、合併の準備を進めてきた町長は、町役場に最後の発言をした。町長は「町がなくなると寂しいはあるが、特に感慨はない。このままでは終わらせたいという気持ちだ」と語り、旧浪岡の新青森市からの分離・独立にあつた意欲を示した。

浪岡町最後の目。淡々と業務をこなす町長。三十一日午前9時、町役場



4 住民投票は国会の意思

5 記録写真

## 住民投票は国会の意思 「市町村の合併の特例に関する法律」の附帯決議

「市町村の合併の特例に関する法律」（旧合併特例法）は、昭和40年3月に制定されました。この法律は10年間の時限法だったため期限が来るたびに延長が繰り返されてきましたが、新法が成立したため、平成17年3月31日に失効しました。

この法律には制定当初及びその後における延長の都度、参議院と衆議院がそれぞれ附帯決議をつけて改正しています。

この附帯決議の内容を見ますと、合併に当たっては、「あくまでも市町村の自主性を十分に尊重すること」「民主的に行われるよう住民投票等を極力推進すること」などが決議されています。

浪岡町においては、青森市との合併をめぐる「住民投票」によって決めるべきかどうか最大の争点となりましたが、住民投票によって決めるべしというのが国会の意思だったのです。



### 衆議院附帯決議

政府は、本法の実施にあたり、次の事項につき遺憾のないよう措置すべきである。

一 合併にあたっては、あくまでも市町村の自主性を尊重すること。

二 最近における市町村行政の実情にかんがみ、市町村に対する事務配分の合理化と自主財源の充実をはかり、すみやかに市町村自治の伸長を期すること。

右決議する。

### 参議院附帯決議

政府は、本法の実施について、次の事項につき、遺憾のないよう措置すべきである。

一 今後の市町村の合併については、いやくも強制にわたることのないようにすること。

二 市町村の事務処理の現況にかんがみ、国、都道府県、市町村の間における行政事務の配分を適正かつ、合理化するため、事務配分を根本的に再検討し、地方自治の一層の確立をはかるようにすること。



混迷の町議会

(2005年3月14日)



佐々木・古村会談

(2005年3月18日)



首長協議

(2005年3月18日)

## 昭和五〇年改正

### 参議院附帯決議

市町村の合併の特例に関する法律の有効期間が延長されることに伴い、政府は次の点について善処すべきである。

- 一 市町村の合併に当たっては、広域市町村圏を真付けることのないよう市町村の自主性を十分尊重すること。
- 二 市町村の自主的合併に当たっては、民主的に行われるよう住民投票等を極力推進すること。

右決議する。

(昭和五〇年三月一六日)  
(参議院地方行政委員会)

政府は、本法の施行に伴い、特に次の点について善処すべきである。

- 一 市町村の合併に当たっては、基礎的的地方公共団体としての市町村の自主性を十分に尊重すること。
- 二 市町村の合併に当たっては、住民投票その他の方法により、関係住民の意向を十分に尊重すること。

### 衆議院附帯決議

## 昭和六〇年改正

### 参議院附帯決議

政府は、左の諸点につき善処すべきである。

- 一 合併に当たっては、市町村の自主性を十分尊重し、住民投票等に より住民の意思が極力反映されるよう努めること。
- 二 合併に当たっては、特に当該地域の歴史的、伝統的地名、文化、風土等を尊重し、その保全を図るよう特段の配慮を行うこと。
- 三 小規模市町村に対する財政的・金融的援助に十分配慮すること。
- 四 本法は、その定める期間をもって廃止するよう万全を期すること。

右決議する。

(昭和六〇年三月一六日)  
(参議院地方行政委員会)

政府は、本法の施行に当たり、次の諸点について善処すべきである。

- 一 合併に当たっては、市町村の自主性を十分尊重し、住民投票等に より住民の意思が極力反映されるよう努めること。
- 二 小規模市町村に対する財政的・金融的援助に十分配慮すること。

### 衆議院附帯決議

(昭和六〇年三月一八日)  
(衆議院地方行政委員会)



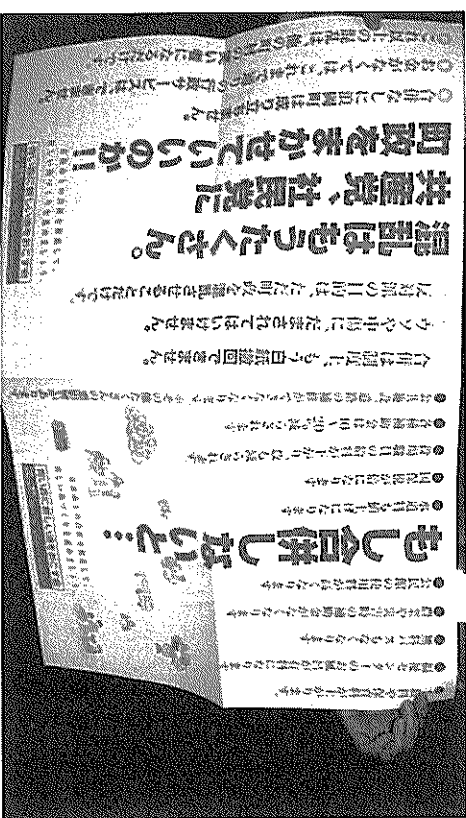
合併五日前の住民投票（2005年3月27日）



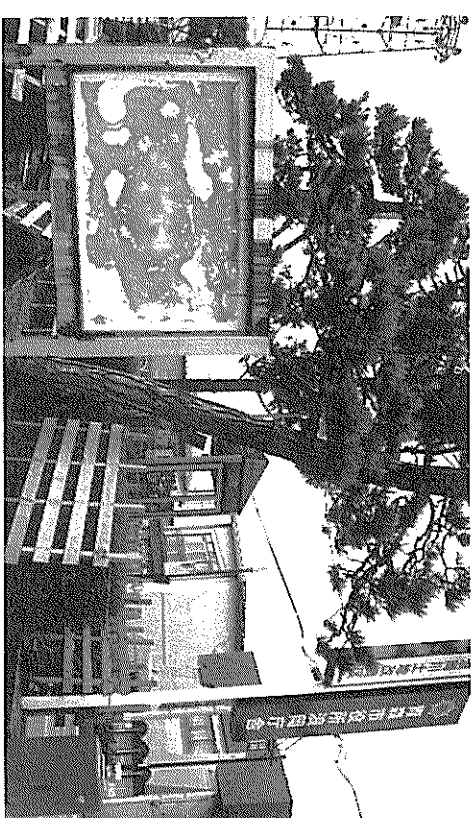
町長室で惜別の思いを語る（2005年3月31日）



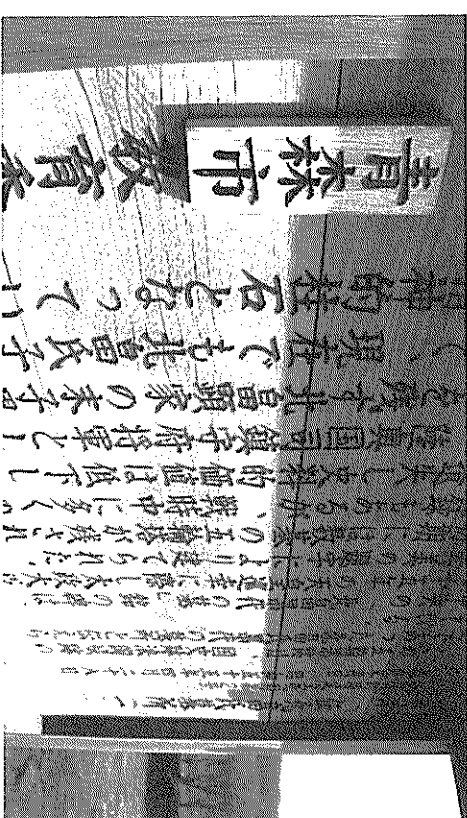
浪岡町役場庁舎最後の夜（2005年3月31日）



カネの出所は？超大型の合併推進チラシ



削り取られたままの「浪岡町青少年センター」



建てた浪岡町教育委員会も歴史なのに…！



どちなのが？バス停のお名前！

「市営バスは浪岡警察署前」

## あとがき

住民投票がとことん拒否され、町長リコールへと発展した。

14人の合併推進議員団などが結成され、それぞれ激しいチラシ合戦になった。

「住民投票を求める会」(以下、「求める会」)のチラシは、当初、週1回程度の発行でしたが、週2回のペースで発行されました。チラシの原案をつくるのは正直大変でした。

チラシの内容で一番重視したことは、役場内のリアルな動きや、町民に少しでも多くの情報を提供するという構えでした。

合併推進派は「求める会」のチラシを「町を混乱させている」「合併は決まったこと」と主張し、特定政党に批判を集中させようとなりました。佐々木市長は「求める会」の運動を「無駄なエネルギー」だと批判し、この批判こそが浪岡無視の典型でした。

合併推進と町長リコー阻止に動く公務員にあるまじき行為なども、堂々と私たちは批判しました。「求める会」のチラシは多くの町民から待たれるようになり、町民の声に耳を傾けるほど住民投票への期待が広がったものでした。

多くの逮捕者まで出した合併も5年目になりますが、当時、チラシのゲラを古村一雄さんの畑にもちより、小さな小屋で何度も修正したことや、ワープロを打つ右指が動かなくなったことも今はなつかしい思い出です。

「求める会」は、党派の垣根を越え「押し付け合併」から「合併は住民投票で決めよう」と町民と共に汗と涙を流したのです。

住民投票を求める会 広報担当 工藤祥三

中世の里 浪岡の合併 まだ終わってはいない。

チラシと新聞記事から見た浪岡の合併記録

2009(平成21年)年4月発行

発行者 住民投票を求める会

連絡先 〒038-1311 青森市浪岡大字浪岡字細田191の1

TEL・FAX 0172-62-1036

記録集編集委員会